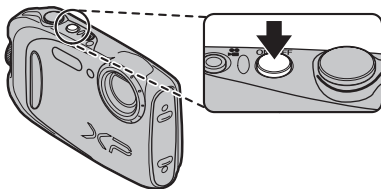


基本的な撮影と再生

SR AUTO (シーンぴったりナビ) で撮影する

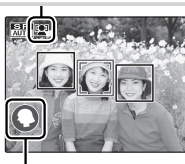
ここでは、SR AUTO 撮影の基本的な流れを説明します。被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動的にシーンを認識して最適な設定にします。

- 1 ON/OFF (電源) ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。**
SR AUTO 撮影画面が表示されます。



SR AUTO について

カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。



シーンアイコン

カメラが最適なシーンを認識すると、画面にシーンアイコンが表示されます。

- | | | |
|-------------|---------------|-------------------|
| • (人物) (人物) | • (夜景) (夜景) | • (夜景&人物) (夜景&人物) |
| • (風景) (風景) | • (マクロ) (マクロ) | • (逆光&人物) (逆光&人物) |

◆ シーンを認識しなかった場合は、SR AUTO (SR AUTO) で撮影されます。

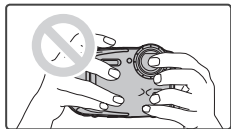
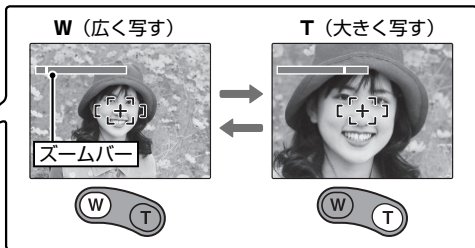
◆ () 内は動くものを認識したときの表示です。

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



- レンズ保護ガラスやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

**3** ズームボタンを押して、構図を決めます。

4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

- ピントが合ったとき
ピピッと音が鳴ります。



- ピントが合わないとき

赤色の AF フレームと **!AF** が液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください (図 40)。

- ◆ シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます (全押しします)。

写真が撮影されます。



● シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む (全押しする) と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。

- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするためシャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光が発光しないように設定を変更できます (図 93)
 - ◆ 暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます (図 43)。
- ① 常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください (図 15)。

いろいろな撮影

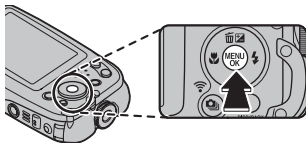
シーンに適したモードで撮影する

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

- 1 MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。



- 2 撮影モードを選んで、▶ を押します。

撮影モードの選択画面が表示されます。



- 3 撮影モードを選んで、MENU/OK ボタンを押します。



















撮影モードが設定され、撮影メニューに戻ります。



- 4 DISP/BACK ボタンを押します。

撮影画面に戻ります。

撮影モード一覧

撮影モード	機能
 シーンびったりナビ	被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします (図 28)。
 AUTO	カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。
P プログラム	カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。
 アクションカメラ	アクションシーンを広角で撮影し、迫力ある映像を記録します。
 連写重ね撮り	暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています (図 35)。
 HDR	露出が異なる複数の画像を撮影して合成し、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像に仕上げます (図 35)。
 高感度 2 枚撮り	フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。
 人物	人物の撮影に適しています。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 アドバンストフィルター	さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます (図 36)。
 ぐるっとパノラマ 360	カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1 枚のパノラマ写真を作成します (図 37)。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中撮影を行うときに使います。
 水中マクロ	水中で、被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

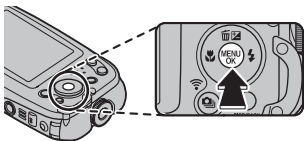
メニューを使いこなす

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

- 1** 撮影画面で MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** 変更する項目を選び、設定を変更します。
- 3** MENU/OK ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。
- 4** DISP/BACK ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。



◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

📷 撮影モード

(工場出荷時: **Auto**)

撮影目的や状況(シーン)に適した撮影モードを設定できます(📖32)。